

今年度第2回の学校運営協議会を令和5年10月31日（火）に開催し、7名の委員の方々にご出席いただきました。

また、幸手市教育委員会学校教育課佐久間主幹兼指導主事にもご同席いただきました。

今回は、今年度1学期の取組及び2学期以降の状況について、埼玉県及び全国学力学習状況調査、学校評価（学校生活アンケート）についてご説明し、その後「さくら小の子供たちの課題について」のテーマで熟議をいただきました。

以下、内容を報告いたします。

## 1 1学期の取組及び2学期以降の状況について

### (1) 学校行事

1学期及び運動会までの主立った学校行事について報告をしました。

運動会で一生懸命頑張っている姿、林間学校では一般客

の方々へも積極的にあいさつできる姿等、様々な行事の場面で、本校児童が立派な態度であったとの報告がありました。

### (2) 予算執行

今年度予算執行状況、学校保健特別対策事業費の執行内容、来年度予算の要求内容、学校徴収金徴収状況、就学援助等の経済的な支援について説明をしました。

### (3) 日課表

来年度の日課表については、朝（業前）の時間の内容を削除して、全体的に15分繰り上げる予定です。登校時刻は変更ありませんが、下校時刻が15分早まる予定です。

これにより、教員の子供たちとふれ合う時間を確保し、質の高い教育の提供を目指します。

### (4) 20周年記念行事

来年度、本校は開校20周年を迎えます。記念行事として、周辺地域を含めた航空写真の撮影を1学期に行う方向で検討中です。式典の開催時期を秋ごろではどうかと検討しています。



## 2 全国及び埼玉県学力学習状況調査

全国学力状況調査（6年生対象）、埼玉県学力学習状況調査（4～6年生対象）の結果を受けて、全体としての状況やそれぞれの課題について報告をしました。

各教科とも平均点を算出しての比較がなされるのですが、埼玉県学力学習状況調査では、個々の学力の伸びを測ることが目的とされています。本校の5・6年生は、順調に学力を伸ばしているという結果が得られています。

また、県学力学習状況調査では、勉強に対する意欲等非認知能力を測ることができるものとなっています。本校では、努力する力や向社会性が重要であると考え、学校の研究課題として取り組んでいるとの報告をしました。



## 3 学校評価（学校生活アンケートより）

1学期に行った児童・保護者・教職員による学校生活アンケート結果から、高評価・低評価であった項目を中心に報告し、記述でいただいた御意見について説明を行いました。

## 4 熟議「さくら小の子供たちの課題について」

### いただいた御意見の抜粋

◎ 運動会は楽しませてもらいました。同時に、一生懸命さが伝わってきました。

◎ 午前中だけの開催は、コロナの影響だけでなく、家庭環境等様々な状況の変化、教職員不足等の要因であると捉えています。

Q：今後も、午前中の開催なのか

⇒A：その予定

Q：例えば他市で、後半高学年の演技になったら、低学年はなしで行っているところがあるようだが。

⇒A：学年相互に見合うことも大切で、意義あることと考えている

◎防犯研修会に参加して、侵入者（不審者）へは、大きな音や光を発するものが効果的であると学んだ。

◎学校を支援する組織について、（学校に児童を通わせている）保護者に限らず、地域の人なら誰でも入れるボランティアの組織に変わっていくと予想される。

◎PTAは保護者と教職員の組織なので、互いに協力しフォローし合うことが大事

◎いじめや差別への対応では、大人の気づかないささいなこともあるようなので、保護者も先生も注意深く見守る必要がある